

第二有之候間右ハ給費規則ニ照準シ願之通學資給与致度依之別冊生徒給費願書并家情書等相添此段相願候也

東京大学予備門主幹

明治十年九月廿九日

服部一三

東京大学三学部綜理 加藤弘之殿

給費出願生

梅若誠太郎	佐久間 育	磯部以呂久
坂内冬蔵	堤 礼吉郎	小田亀次郎
栗田鈴市	梶谷佐五郎	林 磯吉
牧野鍊次郎	野口嘉茂	川田徳次郎
仙田樂三郎	本間丈太郎	河野於菟丸
近藤仙太郎	梶田辰二郎	小林秀太郎
藤川陟記	渋谷慥爾	片山清太郎
牧野清利	森 可次	吉岡哲太郎
神谷泰怒	岩淵 醫	伊藤悌次 <small>(治)</small>
和田武男	佐藤通雄	所谷英敏
穂積八束	北嶋重孝	北代 勝
松田定久	岩澤益三郎	川又 苗
鶴見次昌	太谷津直磨呂	萩原朝之助
樋山勝太郎	佐藤隼吉	酒井佐保
鶴原定吉	横地石太郎	松田武一郎

総計四拾五人

『予備門往復』自明治十年至同十三年、(D1)

78 東京大学予備門生徒渋谷慥爾・伊藤悌治・穂積八束他四十二名給費出願に付採用願  
〔明治十年九月二十九日〕

(朱書)  
〔甲第六十三号〕

当予備門生徒之内別紙人名之もの今般學資給付之儀願出候ニ付先々品行學力并家情等精細取調且身體強弱ノ診查ヲモ遂ケ候処何ニモ學力博究行狀端正支體強健ニシテ將來成業之目的アルモノニ有之候得共元來貧困ニシテ實ニ學資自弁難致ものニ相違無之候就而ハ全ク貧窶ノタメニ從來勉學ノ辛苦ヲ空フスルノミナナラス終ニ其志ヲ遂ル能ワサル至ラシムルハ事實惜シムヘキ次